

Memorial Sloan Kettering Cancer Center における  
Unity MR リニアックを用いた膵臓がんの定位放射線治療Elekta Unity  
Your pathway to  
delivering signature  
therapy

日時

2022年4月7日(木)  
19:00-20:00

参加登録はQRコード



または

<https://is.gd/lhGVa5>  
にアクセス

Register now

主催：エレクタ株式会社



第10回 Elekta Unity Web Symposium では、「Memorial Sloan Kettering Cancer Center における Unity MR リニアックを用いた膵臓がんの定位放射線治療」と題して、米国メモリアルスローンケタリングがんセンターの放射線治療医 Chris Crane 先生と、Associate attending physicist である Neelam Tyagi 先生にご講演をいただきます。

## 【ご講演要旨】

切除不能局所進行膵臓がんの患者に対して良好な局所腫瘍制御と全生存率を達成するには、100 Gy を超える高い生物学的実効線量の投与が必要です。当院では、通常のリニアックによる呼吸ゲーティングと日々のオンライン画像誘導で、15 または 25 分割で前記の高線量照射を実施してきました。ハイブリッド MR リニアックの導入により、従来の複雑な治療が MR 画像誘導即時適応型に進化し、その結果、前記高線量を 5 分割で照射することができるようになりました。

メモリアルスローンケタリングがんセンターでは 2020 年初めに Elekta Unity MR リニアックによる臨床を開始し、これまでに 30 名以上の局所進行膵臓がんの患者を 50Gy 5 分割の高線量で治療してきました。Elekta Unity MR リニアックシステムでは、息止めやゲーティングを始めとする自動的な呼吸性移動管理オプションが臨床稼働していないため、腹部圧迫法を実施しています。当院では Unity で治療するすべての消化器がんの患者に対して、患者個々の許容レベルに基づいて圧力を変更した空気圧迫ベルトを利用しており、重要臓器の動きを可能な限り抑えながら、腫瘍の動きを 5mm 以内に抑えることを目標としています。

本講演では、Elekta Unity MR リニアックシステムに上記圧迫ベルトワークフローを適用し、膵臓がん患者に対する 50Gy5 分割 SBRT を実施した経験を報告します。また、当院の最新の治療手順と治療結果についても紹介します。

The 10<sup>th</sup> Elekta Unity MR-Linac Web Symposium

日時

2022年4月7日(木) 19:00-20:00 (Q&amp;A 19:50-20:00)

演題

Memorial Sloan Kettering Cancer Center における Unity  
MR リニアックを用いた膵臓がんの定位放射線治療

演者

Dr. Chris Crane

Radiation Oncologist, Memorial Sloan Kettering Cancer Center

Dr. Neelam Tyagi

Associate attending physicist, Memorial Sloan Kettering Cancer Center

参加には事前登録が必要です。

アクセス集中によるトラブルを防ぐため、視聴は事前登録制とさせていただきます。(無料)  
上部の QR コードからも参加登録が可能です。コードをカメラで読み込んでアクセスしてください。